

2025年10月17日

山口県教育委員会

教育長 繁吉 健志 様

子どもと教育をまもる山口県民会議

代表 熊野 譲

「県立高校再編整備計画 後期実施計画」（素案）についての要請

子どもたちの成長と発達を保障する教育行政の推進に敬意を表します。

さて、山口県教育委員会は令和7年（2025年）10月1日、「県立高校再編整備計画 後期実施計画」（素案）を公表しました。しかし、短期間の中での地域説明会の開催やパブリック・コメントの実施など、あまりにも拙速な提案であり、住民への周知も十分図られることなく計画が進められようとしていること等に対して、教職員だけでなく、生徒や保護者、地域住民に戸惑いと不安が広がっています。高校再編整備・募集停止については、生徒や保護者、教職員だけでなく、地域にとっても重要な事柄であり、各高校の歴史や地域の期待を尊重し、すべての当事者の意見を直接聴き、全体の合意を形成していく民主的な方法で進めるべきだと考えています。

つきましては、下記の事項について要請するものです。

記

1. 教育を受ける権利、人格の完成をめざす教育に反する「県立高校再編整備計画 後期実施計画」は撤回してください。
2. 1クラス原則40人、1学年4学級から8学級を適正規模とすることに固執せず、公教育を守る視点から、小規模校の意義や利点を踏まえ、教育の機会均等をはかり、子どもたちの学ぶ権利を保障してください。
3. 高校の存続は地域の存続にも関わる重要な課題であるため、当該自治体との協議を行ってください。
4. 学校の教育課程編成権を尊重し、学科改編を押し付けず、素案に対する当該校の検討と議論、そのための期間を保障してください。
5. 空白地域への定時制課程設置や、大規模な特別支援学校にもしっかりと対応してください。
6. 県立高校再編整備・募集停止については、関係者・当該自治体や生徒、保護者、地域住民の合意を重視し、十分な時間と民主的な話し合いの場をもつようにしてください。
7. 地域説明会やパブリック・コメントを実施するだけにとどめず、出された意見を反映させて、「新たな素案」を示してください。意見を反映せずに素案のままとするのであれば、出された意見ひとつひとつについて、反映させなかった理由を明確に示してください。
8. これまでの「県立高校再編整備」について総括・検証し、県民に明らかにしてください。
また、少子化と学校統廃合の悪循環を止める施策を示してください。

以 上